

科目名 (英)	Advance Hairmake Design A (Advance Hairmake Design A)	必修 選択	必須	年次	2	担当教員	桐谷/今井
学科・コース	ヘアメイク科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 (4)	開講区分	前期
						曜日・時間	水曜1, 2 水曜3, 4 金曜1, 2 金曜3, 4
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
コレクション等のヘアメイク、TV、広告、ブライダル、サロンワーク等、多方面な分野での実務経験のある講師から、様々なバリエーションのヘアメイクを学び、現場の目線からのアドバイスを受けながら、ヘアメイクとしての技術や知識を身につける事ができる。年代ヘアメイクを学ぶ事でファッションの歴史を知る事が出来、基礎技術と構成力が身につく。スチール撮影に向けての授業を行う事で、発想力と将来の現場対応能力が身につく。							
【授業を通じての到達目標】							
年代のヘアメイクを学びヘアメイクの歴史を知る事で、総合的にファッションを知り、基礎技術を習得する。スチールのヘアメイクを学び創造力や技術を伸ばす。							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
回	授 業 概 要					テ ス ト 配 点	
1	1年振り返り/スチール、コンテスト概要説明、アンケート/年代ムービー						
2	30年代ヘア/マルセルウェーブ						
3	50年代ヘア/ロカビリーロール						
4	60年代ヘア/ビックヘア						
5	70年代ヘア/モヒカン、リーゼント						
6	年代ヘア/マリーアントワネット						
7	年代ヘア/花魁						
8	中間テスト/ウィッグヘア スチール/コンテスト用コンセプトシート説明、作成					20点	
9	スチール&コンテスト練習						
10	スチール&コンテスト練習					10点	
11	スチール&コンテスト練習						
12	スチール&コンテスト練習						
13	スチール/コンテスト練習						
14	コンテスト練習					10点	
15	定期テスト/コンテスト内容					60点	
【特記事項】				【評価について】			
				<ul style="list-style-type: none"> ●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点 ●評価 A評価(90~100点)/B評価(80~89点)/C評価(70~79点) D評価(60~69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0~59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。 			

科目名 (英)	Advance Hairmake Design B (Advance Hairmake Design B)	必修 選択	必須	年次	2	担当教員	堤/秋本
学科・コース	ヘアメイク科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 (4)	開講区分	前期
						曜日・時間	水曜1, 2 水曜3, 4 金曜1, 2 金曜3, 4
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
ヘアメイクとしてTV、雑誌、広告バックステージ、化粧品ブランドアーティストとして現役で活動している講師から各テイスト別で様々な知識や技術を修得しメイク技術を上げる事で、基本的な技術からクリエイティブな作品作りにおいて必要な技術を身につける。							
【授業を通じての到達目標】							
基本的な技術からクリエイティブな作品作りにおいて必要な技術を修得しメイク技術を上げる事で、数あるジャンルのメイクに対応 出来るようになる。							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
メイク道具一式、筆記用具、鏡用雑巾、手指消毒液							
回	授 業 概 要					テスト配点	
1	creative make(グラデーション)					5	
2	年代別メイク(30's)						
3	creative make(ペイント)						
4	年代別メイク(60's)					5	
5	creative make(トライバル)						
6	年代別メイク(80's)						
7	中間テスト					20	
8	creative make(和風)						
9	creative make(ピグメント)					5	
10	creative make(液体メイク)						
11	creative make(2D3Dメイク)						
12	creative make(マスキングテープ)					5	
13	スチール、コンテストへ向けて(実技)						
14	コンテストへ向けて(実技)						
15	定期テスト					60	
【特記事項】				【評価について】			
				<ul style="list-style-type: none"> ●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点 ●評価 A評価(90~100点)/B評価(80~89点)/C評価(70~79点) D評価(60~69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0~59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。 			

科目名 (英)	Advance Hairmake Design C (Advance Hairmake Design C)	必修 選択	必須	年次	2	担当教員	久保/鈴木
学科・コース	ヘアメイク科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 (4)	開講区分	前期
				曜日・時間	水曜1, 2 水曜3, 4 金曜1, 2 金曜3, 4		
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
ヘアメイクとしてTV、雑誌、広告バックステージ、化粧品ブランドアーティストとして現役で活動している講師から各テイスト別で様々な知識や技術を修得しメイク技術を上げる事で、 基本的な技術からクリエイティブな作品作りにおいて必要な技術を身につける。							
【授業を通じての到達目標】							
基本的な技術からクリエイティブな作品作りにおいて必要な技術を修得しメイク技術を上げる事で、 数あるジャンルのメイクに対応出来るようになる。							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
メイク道具一式、筆記用具、鏡用雑巾、手指消毒液							
回	授 業 概 要					テスト配点	
1	Practical make(トレンド)					5	
2	Practical make(トレンド)						
3	年代別メイク(50's)						
4	Practical make(コントアリング)					5	
5	年代別メイク(70's)						
6	Practical make(ネオンデザイン、変形ライナー)						
7	中間テスト					20	
8	Practical make(中世風)						
9	Practical make(肌作り)					5	
10	Practical make(メンズメイク)						
11	Practical make(配色)						
12	スチール、コンテストに向けて(コンセプトシート)					5	
13	スチール、コンテストに向けて(実技)						
14	コンテストに向けて(実技)						
15	期末テスト					60	
【特記事項】				【評価について】			
				<ul style="list-style-type: none"> ●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点 ●評価 A評価(90~100点)/B評価(80~89点)/C評価(70~79点) D評価(60~69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0~59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。 			

科目名 (英)	プロフェッショナルへの道Ⅲ (Professional seminarⅢ)	必修 選択	必須	年次	2	担当教員	大塚・阿部・吉田
学科・コース	ヘアメイク科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期
						曜日・時間	1組→金曜3限 2組→金曜2限 3組→水曜3限 4組→水曜2限
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
<p>学生一人ひとりの強みを学生自身が探し出し、適性に沿った進路を選択できるようにする</p> <p>※担任が社会人経験を活かし、社会人として大切な知識・一般常識・自己アピール力について指導し、第1希望企業の採用試験での内定を得られる人材育成授業を行う</p> <p>主たる講師：美容院に美容師として勤務後、本校ヘアメイク科担任として従事している</p>							
【授業を通じての到達目標】							
<p>・自己分析、面接練習、グループワークを通し、自分の強みに気付き、相手に的確に伝えることが出来るようになる</p> <p>・社会人として大切なマナー、一般常識の理解を得て、行動に責任をもてるようになる</p>							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
毎授業時に配布				毎授業時に配布			
回	授 業 概 要					テ ス ト 配 点	
1	就職活動ルール確認 キャリアセンターより就職活動指導						
2	履歴書対策① 企業分析を基に自己PR作成(PREP法)・志望動機の作成 履歴書の書き方復習						
3	履歴書対策② 企業分析を基に自己PR作成(PREP法)・志望動機の作成 履歴書の書き方復習						
4	履歴書対策③ 企業分析を基に自己PR作成(PREP法)・志望動機の作成 履歴書の書き方復習 1・2年生交流会について						
5	企業対応の仕方(DM・電話・メール・言葉遣い) 1・2年生交流会について						
6	面接試験対策① 模擬面接練習(入室から退出のマナー確認)					履歴書提出(小テスト10点満点)	
7	面接試験対策② 模擬面接練習(入室から退出のマナー確認)						
8	模擬面接 中間テスト(20点満点)					20点	
9	模擬面接会を振り返り、面接試験の準備をする 面接対策③模擬面接の振り返り 自己PR方法について					振り返り提出(小テスト10点満点)	
10	社会人基礎知識・卒業アルバムワーク						
11	社会人基礎知識・卒業アルバムワーク						
12	内定礼状の書き方・内定後のマナーについて(SNSなど)						
13	夏休み課題、キャリアセンターより就職活動指導 (夏休み中の就職活動について・8/17未内定者面談について)						
14	1～13回目までの授業の振り返りを行う						
15	定期テスト(60点満点)					定期テスト 60点	
【特記事項】				【評価について】			
				<p>●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点</p> <p>●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点) D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格)</p> <p>●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。</p>			

科目名 (英)	ヘアメイク総合技術Ⅱ(BR) (Hairmake synthesis techniqueⅡ(BR))	必修 選択	必須	年次	2	担当教員	大井
学科・コース	ヘアメイク科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 (4)	開講区分	前期
						曜日・時間	奇数週 火曜1-4
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
ブライダルサロン勤務経験以外にもファッションショー・雑誌の撮影・舞台など20年以上にわたり幅広く現役で活躍している講師によるブライダルヘアメイクになる為の基礎技術・トータルバランス感覚・アテンド技術・自身の美しさを身に付ける							
【授業を通じての到達目標】							
各技術を理論的に理解・修得出来る							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
回	授 業 概 要						テスト配点
1	ウエディング基礎①:ブライダルヘアメイクの仕事を理解する 会場・挙式スタイル・用語を修得する						
2	今どきブライダルスタイル:立体創造を理解し、構成カルテの作成技術を修得する						
3	ウエディング基礎②:ブライダルヘアメイクの仕事を理解する ウェディングイベント・ジックスを知る						
4	小物(ヘッドパーツ・アクセサリー):ヘッドパーツの種類・装着方法・トレンド・コーディネートを知る						
5	小物作成:造花・リボン・パール・チュールを使いヘッドパーツを作成方法を修得する						小テスト(10点)
6	メンズ支度:タキシード・ネクタイの種類・装着方法を修得する						
7	中間テスト						中間テスト(20点)
8	アテンド①・インナー:アテンド内容・ドレスの持ち方・立ち方・インナーの種類・装着方法を修得する						
9	ドレスフィッティング・アテンド②:ドレスの装着方法・アテンド技術を向上する						小テスト(10点)
10	トータルコーディネート①(スチール撮影用):コンセプトを基にトータルコーディネートを創造する						
11	トータルコーディネート②(スチール撮影用):ヘアメイクとのバランス感覚・コーディネートを創造する						
12	トータルコーディネート③(スチール撮影用):ヘアメイクとのバランス感覚・コーディネートを創造する						
13	スチール撮影①:カメラマンへのプレゼン・カメラ前の動き方を修得する						
14	スチール撮影②:カメラマンへのプレゼン・カメラ前の動き方を修得する						
15	定期テスト						定期テスト(60点)
【特記事項】				【評価について】			
				<ul style="list-style-type: none"> ●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点 ●評価 A評価(90~100点)/B評価(80~89点)/C評価(70~79点) D評価(60~69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0~59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。 			

科目名 (英)	ヘアメイク総合技術Ⅱ(ED) (Hairmake synthesis techniqueⅡ(ED))	必修 選択	必須	年次	2	担当教員	MAQUIA 若林・山崎
学科・コース	ヘアメイク科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 (4)	開講区分	前期
						曜日・時間	奇数週 火曜1-4
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
<p>本科目を受け持つ講師は全員アイリストとしてサロンワーク・講師としてのスタッフ育成・教員を務めた経験を有しており、アイリストとしての基礎知識や接客を身につけている。 アイリストとしての知識と技術を身につける。</p>							
【授業を通じての到達目標】							
アイリストとしての基本知識や接客を身につけ実践的な技術を習得する							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
アイラッシュ道具一式							
回	授 業 概 要					テ ス ト 配 点	
1	・まつ毛の特徴・毛周期・病理学・商材について学ぶ。						
2	・マネキントレーニングでテープワークを実践し、学ぶ。 ・ツイザーの正しい使い方を学び、エクステの付け方の基礎を学ぶ。						
3	・マネキントレーニングでつけまつげにエクステ装着を実践し、付け方を学ぶ。						
4	・薬剤を使ったエクステの取り外し(オフ)を習得する。						
5	・小テスト(筆記)					10点	
6	・マネキントレーニングでつけまつげにエクステ装着を実践する。						
7	・小テスト(筆記)					10点	
8	・相モデルになり、テープワークとエクステ装着を実践し、付け方を習得する。(ベッド使用)						
9	・カウンセリング学/デザイン学・/アフターケアを学ぶ。						
10	・相モデルでエクステ装着を実践し、付け方を習得する。(ベッド使用)						
11	・店舗見学で、実際のアイリストの接客や技術を学ぶ。						
12	・その後学校に戻り、相モデルでエクステを装着の実践をし、付け方を習得する。(ベッド使用)						
13	・中間テスト(実技)(ベッド使用)					20点	
14	・相モデルでエクステを装着の実践をし、付け方を習得する。(ベッド使用)						
15	・定期テスト(実技)ウィッグを使用し、つけまつげにエクステを装着し、テストを行う。					60点	
【特記事項】				【評価について】			
				<p>●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点</p> <p>●評価 A評価(90~100点)/B評価(80~89点)/C評価(70~79点) D評価(60~69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0~59点・不合格)</p> <p>●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。</p>			

科目名 (英)	ヘアメイク総合技術Ⅱ(HMA) (Hairmake synthesis techniqueⅡ(HMA))	必修 選択	必須	年次	2	担当教員	桐谷
学科・コース	ヘアメイク科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 (4)	開講区分	前期
						曜日・時間	偶数週 火曜1-4
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
コレクション(パリ、ミラノ、ニューヨーク、ロンドン)等のヘアメイク、TV((タレント等)、広告、ブライダル、サロンワーク等、多方面な分野でのキャリアを積んだ講師が実務経験を活かし、現場に対応できる技術を学ぶ事が出来る。様々なバリエーションのヘアメイクを習得する事ができ、クリエイティブなデザインや技術を学ぶ事で将来の仕事のキャパシティを広げる事を目的とし、スチールやコンテストを通じて、自分の作品の表現力を養う事ができる。							
【授業を通じての到達目標】							
クリエイティブな作品作りを目的として、基礎技術の追求と習得を目指す。創造力を養い、実現化する事で技術の向上とクリエイティブな作品が作れるようになる。クリエイティブな作品作りに役立つアイテムの作成方法を学ぶ。							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
エクステンション、スタイリング剤、				様々な作品を見て自分のスクラップブックを作成する			
回	授 業 概 要					テ ス ト 配 点	
1	エクステンション						
2	扱い方、種類、付け方、加工						
3	バックコーム						
4	逆毛の基本、ビッグヘアの作り方						
5	エクステンション/加工						
6	ローション加工/アイロン加工 ★					10点	
7	中間テスト					20点	
8	中間テスト/ヘア						
9	ヘアメイク						
10	ヘアメイク アイテム作成 ☆						
11	メイク/ヘア						
12	スチールヘアメイク完成 ☆					10点	
13	スチール/コンテスト練習						
14	コンテスト練習/am ヘア★ pm/メイク☆						
15	コンテスト/pmテスト/アイテムチェック					60点	
【特記事項】				【評価について】			
				●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点			
				●評価 A評価(90~100点)/B評価(80~89点)/C評価(70~79点) D評価(60~69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0~59点・不合格)			
				●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			

科目名 (英)	ヘアメイク総合技術Ⅱ(HMB, HMC) (Hairmake synthesis techniqueⅡ HMB,HMC)	必修 選択	必須	年次	2	担当教員	東村
学科・コース	ヘアメイク科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 (4)	開講区分	前期
							HMB: 奇数週 火曜1-4 HMC: 偶数週 火曜1-4
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
ここまで学習した基礎、並行して学ぶ応用も含め、どの様に実践で活用していくかを学びます。現場別で求められるヘアメイクを軸に、表現方法、提案の仕方を学び、レベルアップをはかります。既にある広告やマガジンのキービジュアルやファッションアイコンから、ヘアメイクの表現、形、質感を撮影までの過程を想定して実習します。							
【授業を通じての到達目標】							
与えられたテーマを元に、女性像やスタイルを自ら提案、プレゼンが出来るようにする。自己判断、好みに走り過ぎないよう、クライアントや第三者が見ても共感を得れる様なビジュアル作りを目標とします。授業を通じ、現場で何が求められているか考え行動出来るようにし、即戦力になるスキル、マインドを身につけます。							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
ヘアメイク道具一式				携帯アプリ(ピンタレスト等)を利用し、ジャンル別にヘアメイクビジュアルをまとめ、フォルダリングしていく。			
回	授 業 概 要					テ ス ト 配 点	
1	[ヘアメイク/デモンストレーション] オリエンテーション。講師によるデモンストレーション。						
2	[テキストチャーター&プロダクト/ヘア] スタイリング剤の効果と質感を学ぶ。						
3	[リアルヘアメイク①/メイク] ベースメイクアップの質感を操作する。					小テスト5点満点	
4	[リアルヘアメイク①/ヘア] 髪の状態に応じたベースメイクとアイロンワーク。						
5	[リアルヘアメイク②/メイク] ポイントメイクパターンを使い分ける。					小テスト5点満点	
6	[リアルヘアメイク②/ヘア] 髪の状態に応じたベースメイクとアイロンワーク。						
7	[中間テスト/撮影] ムードボードを作成。ヘアメイク作品撮影。学生はモデル用意。					中間テスト 20点満点	
8	[中間テスト/撮影] ムードボードを作成。ヘアメイク作品撮影。学生はモデル用意。						
9	[クリエイティブメイク] プリント、ペイント、ペーストによるメイククリエーション。					小テスト5点満点	
10	[クリエイティブヘア] 特殊なアイロンワーク、アイデアを研究する。						
11	[ウィッグメイキング] ウィッグのカットとスタイリング					小テスト5点満点	
12	[サブカルヘアメイク] 作成したウィッグを元に、サブカルスタイルに仕上げる。						
13	[メンズルック/ヘアメイク] メンズモデル用意。						
14	[定期テスト/撮影] ムードボードを作成。ヘアメイク作品撮影。学生はモデル用意。					定期テスト 60点満点	
15	[定期テスト/撮影] ムードボードを作成。ヘアメイク作品撮影。学生はモデル用意。						
【特記事項】				【評価について】			
				●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点 ●評価 A評価(90~100点)/B評価(80~89点)/C評価(70~79点) D評価(60~69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0~59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			

科目名 (英)	ヘアメイク総合技術Ⅱ (HS) (Hairmake synthesis technique II (HS))		必修 選択	必須	年次	2	担当教員	山下/吉岡
学科・コース	ヘアメイク科		授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 (4)	開講区分	前期
					曜日・時間	偶数週 火曜 1-4		
【学習の目的】 (※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)								
海外のサロン勤務、コレクション、ヘアショーやマガジン撮影等の経験で得た講師による色々な髪質のヘアに対する知識や技術、接客サービスを身に付ける事が出来るようになる。ウィッグや人頭でパーマ、カラー、シャンプー、ブロー等の施術を体験し1つ1つの技術に対する技術理論習得し実践でも活かせるようになる。								
【授業を通じての到達目標】								
サロンワークにスムーズに入っていけるようなマナー、基礎知識、現場で使えるような技術を習得する								
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】				
ヘア、メイク用具				実際にサロン実習				
回	授 業 概 要						テ ス ト 配 点	
1	シャンプー(サイド、バック)を学ぶ							
2	ブローを学ぶ(ハンドブロー・デンマンブラシ・ロールブラシの使い方、基礎を習得)						小テスト10点	
3	カラーの基礎知識、カラーチャートの見方を学ぶ							
4	ウィッグを使いカラーを施術する(リハーサルクリーム使用)							
5	カラーホイールワークを学ぶ(リハーサルクリーム使用)							
6	相モデルで人頭によるカラーの塗り方を習得(リハーサルクリーム使用)							
7	相モデルでカウンセリングからカラー、シャンプー、ブローまでの流れをテスト 前半(リハーサルクリーム使用)							
8	相モデルでカウンセリングからカラー、シャンプー、ブローまでの流れをテスト 後半(リハーサルクリーム使用)						中間テスト20点	
9	パーマの基礎知識を学ぶ							
10	ウィッグを使いパーマの巻き方やヘルプの仕方を学ぶ							
11	3人1組でヘルプとパーマの施術の1連の流れを習得 (前半)							
12	3人1組でヘルプとパーマの施術の1連の流れを習得 (後半)						小テスト10点	
13	スタイリングを学ぶ(ストレートアイロン、カールアイロンでの表現の違いを習得)							
14	各自でイメージスタイルを決め相モデルで表現することを習得						定期テスト60点	
15	サロンにてカウンセリングから技術、補助の一連の流れを習得							
【特記事項】				【評価について】				
				<ul style="list-style-type: none"> ●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点) D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。 				

科目名 (英)	photo shooting II	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	桐谷 今井 秋本 久保 堤 鈴木
学科・コース	ヘアメイク科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期
						曜日・時間	集中
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
既にある広告やマガジンのキービジュアル、ファッションアイコンのヘアメイクからその再現方法、細かくはディテールや質感の作り方を撮影までの過程を取り入れた実習を実施する。講師経歴・美容サロンや一般企業に対するヘアメイク指導や、美容部員向けのメイク研修講師等を実施。特殊メイクや、スチール撮影での講師経験もある。							
【授業を通じての到達目標】							
自己判断的にならず、ヘアメイクを通してクライアントや第三者が見ても共感を得れる様なビジュアル作りを目標とする。							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
毎授業時に配布							
回	授 業 概 要						テスト配点
1	【授業単元】スタジオワークデモンストレーション						
2	【到達目標】撮影までの流れと工程を見て、ナチュラルからクリエイティブのバリエーションを確認する						
3	【授業単元】イメージヘアメイク						
4	【到達目標】イメージ(人物像)が伝わるヘアメイクを身に付ける						
5	【授業単元】クリエイティブヘアメイク						
6	【到達目標】フォトコンテストで賞を受賞するような作品のディレクションやアイデアを研究する						
7	【授業単元】スタジオワーク						
8	【到達目標】個人用作品の充実を図る						
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
【特記事項】				【評価について】			
				<ul style="list-style-type: none"> ●出席・授業態度・提出物の状況に応じて100点満点で評価を実施 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点)/D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。 			

科目名 (英)	オリエンテーション・導入教育Ⅲ	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	大塚・吉田・阿部・宮崎
		授業 形態	講義	総時間 (単位)	15 (1)	開講区分	通年
学科・コース	ヘアメイク科					曜日・時間	集中
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
学年全体の学習イメージをつけることができる							
【授業を通じての到達目標】							
年間のスケジュールが理解できる 授業概要が理解できる							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
プリント配布							
回	授 業 概 要						テスト配点
1	【授業単元】 スケジュール・ルール確認						
2							
3							
4							
5	【到達目標】 年間のスケジュールが理解できるようになる 学則・内規等のルールを理解し、遵守の意識を持つ 学科職員や学校組織の構成を知る						
6							
7							
8							
9	【授業単元】 時間割・授業概要理解 就職活動について						
10	【到達目標】 年間の授業概要を理解し、これからの学びのイメージをもつ 就職活動についての具体的な自分のスケジュールを立てることができる						
11							
12	【評価】出席・授業態度・提出物の状況に応じて100点満点で評価を実施						
13							
14							
15							
【特記事項】				【評価について】			
				<ul style="list-style-type: none"> ●出席・授業態度・提出物の状況に応じて100点満点で評価を実施 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点)/D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。 			

科目名 (英)	ファイナルコンテスト	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	大塚・吉田・阿部・宮崎
学科・コース	ヘアメイク科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期
						曜日・時間	集中
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
1年次および2年次前期の学びを活かし、独創的な作品を発表する							
【授業を通じての到達目標】							
モデルを対象に、コンセプト通りの作品を表現する							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
毎授業時に配布							
回	授 業 概 要						テスト配点
1	【授業単元】 コンセプト作成および仕込み						
2	【到達目標】						
3	・テーマを基にイメージを膨らませ、コンセプトシートに落とし込む ・コンセプトシートを基に必要な材料をそろえる ・モデルに対し、事前に衣装合わせなどを実施する						
4							
5							
6							
7							
8							
9	【授業単元】 コンテスト発表						
10	【到達目標】						
11	・コンセプトシートを基にモデルにヘアメイクを施す ・制限時間内で仕上げ、プレゼンテーションを行う						
12	【評価】 審査員および指導教員の評価により100点満点にて評価する						
13							
14							
15							
【特記事項】				【評価について】			
				●事前審査および当日審査により評価 合計100点満点			
				●評価 A評価(90~100点)/B評価(80~89点)/C評価(70~79点) D評価(60~69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0~59点・不合格)			
				●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			

科目名 (英)	業界研究Ⅲ	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	今井 及川 吉田
学科・コース	ヘアメイク科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期
						曜日・時間	集中
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
現場のヘアメイクの方からやりがいやトレンド、仕事の内容を伺い、将来の仕事のイメージをつける							
【授業を通じての到達目標】							
自身が将来進みたい分野の仕事のイメージつけることができる							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
資料・教材は毎授業時に配布				授業によって自宅課題あり			
回	授業概要						テスト配点
1	【授業単元】 ヘアメイクの働き方(事務所)						
2	【到達目標】 事務所で働くヘアメイクのイメージをつけることができる 仕事のやりがいなど、学んだことを言語化して振り返ることができる						
3	【授業単元】 ヘアメイクの働き方(スチール・広告)						
4	【到達目標】 スチールや広告等静止画で活躍するヘアメイクの仕事のイメージをつけることができる 仕事のやりがいなど、言語化して振り返ることができる						
5	【授業単元】 ヘアメイクの働き方(映像系)						
6	【到達目標】 映画・ドラマ・CMなどの映像系で活躍するヘアメイクの仕事のイメージをつけることができる 仕事内容などを言語化して振り返ることができる						
7	【授業単元】中間テスト ヘアメイク業種・仕事内容・分野・働き方の振り返り						
8	【到達目標】 今まで学んだ内容を振り返り、やりがいなどをプレゼンテーションすることができる						
9	【授業単元】 ヘアメイクの働き方(ブライダル)						
10	【到達目標】 ブライダルヘアメイクで働くことのイメージをつけることができる 仕事の内容などを振り返り、言語化することができる						
11	【授業単元】 ヘアメイクの働き方(フォトスタジオ)						
12	【到達目標】 スチール現場実習時のカメラ前アシスタントの動きや流れを理解出来る フォトスタジオで働くヘアメイクの仕事を理解する 仕事を振り返り、言語化することができる						
13	【授業単元】 ヘアメイクの働き方(サロン)						
14	【到達目標】 美容サロンで働くヘアメイクの仕事イメージすることができる 仕事を振り返り、言語化することができる						
15	【授業単元】定期試験 振り返り						
	【到達目標】ヘアメイクの仕事をつとまる視点で判断し、自分にあった職種をイメージすることができる						
【特記事項】				【評価について】			
				<ul style="list-style-type: none"> ●出席・授業態度・提出物の状況に応じて100点満点で評価を実施 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点) D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。 			

科目名 (英)	業界特別授業	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	大塚・吉田・阿部・宮崎
学科・コース	ヘアメイク科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	15 (1)	開講区分	前期
						曜日・時間	集中
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
ヘアメイク技術を知り、知見を広げる							
【授業を通じての到達目標】							
ヘアメイクアーティストの実演を通してヘアメイクの幅を広げる							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
毎授業時に配布							
回	授業概要						テスト配点
1	【授業単元】 ヘアメイク事情						
2	【到着目標】 ヘアアーティストとメイクアップアーティストの違いについて、調べ学習や発表を通して理解を深める						
3							
4							
5	【授業単元】 ヘアメイクアーティストの技術実演①						
6	【到着目標】 制作プロセスから見学し、自分の作品制作に活かすことができる						
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
【特記事項】				【評価について】			
				<ul style="list-style-type: none"> ●出席・授業態度・提出物の状況に応じて100点満点で評価を実施 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点)/D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。 			

科目名 (英)	相互支援演習Ⅲ	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	大塚・吉田・阿部・宮崎
		授業 形態	演習	総時間 (単位)	15 (1)	開講区分	前期
学科・コース	ヘアメイク科					曜日・時間	集中
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
クラス全体でファッションを考え、競技に取り組むことで、協調性を養い、クラス・学科間の相互支援関係を構築する							
【授業を通じての到達目標】							
・競技参加種目を決める ・クラスごとに衣装のコンセプトを決める ・当日を楽しみ、仲間を応援する							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
資料・教材は毎授業時で配布							
回	授 業 概 要						テスト配点
1	【授業単元】 参加競技決定 役割・委員決め 衣装決定						
2	【到達目標】						
3	クラス内で役割を決め、参加する競技を決める クラスごとにコンセプトを基に衣装を決める						
4	小テスト・中間テスト:事前準備の積極性にて評価 40点満点						
5	【授業単元】 行事当日 各種目に参加する						
6	【到達目標】 各自与えられた役割を基に、競技に参加し、行事を運営する。 応援を通し、相互支援関係を構築する。						
7	【定期テスト】						
8	当日の出席・競技の積極性・応援の積極性等にて評価60点						
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
【特記事項】				【評価について】			
				<ul style="list-style-type: none"> ●出席・授業態度・提出物の状況に応じて100点満点で評価を実施 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点)/D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。 			

科目名 (英)	特殊メイク演習Ⅱ	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	東村
		授業 形態	演習	総時間 (単位)	15 (1)	開講区分	前期
学科・コース	ヘアメイク科					曜日・時間	集中
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
普段、撮影や収録現場で制作会社や編集からのリクエストをもとに授業内容を構成し、それに沿ったヘアメイクの表現方法の幅を学ぶ。 その中でも、特殊メイクに特化した授業を行う。							
【授業を通じての到達目標】							
舞台メイク基礎を学ぶ							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
毎授業時に配布							
回	授 業 概 要						テスト配点
1	【授業単元】舞台メイク教材基礎知識 【到達目標】発汗に強いベース作り						
2	【授業単元】ベース作り 【到達目標】ベース作り～立体感・陰影作り						
3	【授業単元】小テスト ベース作り 【到達目標】ベース作り～完成まで						
4	【授業単元】ポイントメイク基礎Ⅰ 【到達目標】ポイントメイクの基礎をおさえる						
5	【授業単元】ポイントメイク基礎Ⅱ 【到達目標】ポイントメイクの基礎を実践する						
6	【授業単元】小テスト 舞台映えメイク 【到達目標】全体のバランスを考慮し、舞台上で映えるメイク完成						
7	【授業単元】中間テスト 【到達目標】相モデルで時間内に完成させる						
8	【授業単元】ボディペインティング 【到達目標】ボディペインティング教材基礎知識、ボディアート実技						
9	【授業単元】舞台メイクとボディペインティング 【到達目標】舞台メイク基礎で学んだ技術を取り入れ、ボディアートを融合させる						
10	【授業単元】舞台メイクとボディペインティングⅡ 【到達目標】舞台メイク基礎で学んだ技術を取り入れ、ボディアートを融合させ仕上げる						
11	【授業単元】舞台メイク応用 【到達目標】舞台メイクを応用させ、実践する						
12	【授業単元】キャラクターメイク 【到達目標】キャラクターメイクに特化して学						
13	【授業単元】作品作り 【到達目標】定期試験に向けての作品作り						
14	【授業単元】作品作りⅡ 【到達目標】定期試験に向けての作品作り						
15	【授業単元】定期テスト 【到達目標】舞台メイク応用で学んだ技術を生かしボディアートを取り入れた作品を仕上げる						
【特記事項】				【評価について】			
				<ul style="list-style-type: none"> ●出席・授業態度・提出物の状況に応じて100点満点で評価を実施 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点)/D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。 			